

道路メンテナンス事業 令和 7 年度

西福橋他橋梁修繕工事

設計書

見 積 設 計 書

工 事 番 号 宍建北工第071301号

路 線 名 等 市道西深線 他

工 事 箇 所 宍粟市一宮町西深地内 他

照 合 済



宍 粟 市

工 事 費				概 要		
基準適用日 07/10/1	実 施 (前回変更)	今 回 変 更		西福橋		
設 計 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	増 減 額 (円)	ひび割れ補修工	1	構造物
請 負 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)	断面修復工	1	構造物
執 行 方 法	請 負	施 工 日 数	令和8年3月25日 限り	沓座拡幅工	3	箇所
(起工理由)				塗装塗替工	318	m ²
				仮設工	1	式
				中組橋		
				ひび割れ補修工	1	構造物
				断面修復工	1	構造物
				主桁補修工	1	箇所
				目地材補修工	7	m
				水切り材設置工	18	m
				塗装塗替工	31	m ²
				仮設工	1	式

総括情報表

頁 0001

単価適用年月日	0-07. 10. 01	
施工箇所点在型区分	01 施工箇所点在型工事	
	今	回
西福橋 工種区分（公共） 施工地域区分	08 鋼橋架設 35 一般交通影響有り（2）－ 2	前
前払区分 契約保証費用	02 補正なし 1.00 01 計上する	回
中組橋 工種区分（公共） 施工地域区分	08 鋼橋架設 35 一般交通影響有り（2）－ 2	
前払区分 契約保証費用	02 補正なし 1.00 01 計上する	

施 工 箇 所 点 在 調 整 表

当初 頁0002

地区名	西福橋	中組橋	計			備 考
ファイル名 設計書番号						
費目名	本工事費	本工事費				
直接工事費						
共通仮設費計						
* 処分費の減額分 *						
現場環境改善費						
共通仮設費率分						
純工事費						
現場管理費						
工場制作						
工事原価						
一般管理費						
工事価格						
消費税相当額						
** 合 計 **						

総括情報表

頁0-0001/0043

単価適用年月日	0-07. 10. 01 (0)		
	今 回	前 回	
工種区分 (公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休 2 日補正	08 鋼橋架設 35 一般交通影響有り (2) - 2 02 補正なし 1.00 01 計上する 08 完全週休 2 日 (土日)		

工事費内訳書

頁0-0002/0043

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費	西福橋						
橋梁保全工事							
橋梁補修工							
ひび割れ補修工							
低圧注入工法							
ひび割れ補修工（低圧注入工法）							
		1		構造物			施工 第0-0001号内訳表
断面修復工							
左官工法							
断面修復工（左官工法）							
		1		構造物			施工 第0-0002号内訳表

工事費内訳書

頁0-0003/0043

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
Co殻運搬						
	0.2	m3				施工 第0-0003号内訳表
処分費 コンクリート殻(無筋) ; 投棄量0. 2 m3						
	1	式				施工 第0-0007号内訳表
沓座拡張工						
沓座拡張工						
沓座拡張工						
	3	箇所				施工 第0-0008号内訳表
現場塗装工						
橋梁塗装工						
素地調整						
塗替塗装 [清掃・水洗い]						
	318	m2				施工 第0-0017号内訳表

工事費内訳書

頁0-0004/0043

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗膜剥離工 1回目						
	318	m2				施工 第0-0018号内訳表
塗膜剥離工 2回目						
	318	m2				施工 第0-0019号内訳表
回収・積込み 1回目						
	318	m2				施工 第0-0020号内訳表
回収・積込み 2回目						
	318	m2				施工 第0-0021号内訳表
塗替塗装〔素地調整〕 3種ケレンC（動力工具と手工具の併用）						
	318	m2				施工 第0-0022号内訳表
下塗						
塗替塗装〔下塗り〕 弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料（ハケ・ローラー）1層						
	318	m2				施工 第0-0023号内訳表
塗替塗装〔下塗り〕 弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料（ハケ・ローラー）2層						
	318	m2				施工 第0-0024号内訳表
中塗						

工事費内訳書

頁0-0005/0043

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗替塗装 [中塗り] 弱溶剤形ふっ素樹脂[濃彩]						
	318	m2				施工 第0-0025号内訳表
上塗						
塗替塗装 [上塗り] 弱溶剤形ふっ素樹脂[濃彩]						
	318	m2				施工 第0-0026号内訳表
運搬処理工						
塗膜片運搬						
運搬費 ; 運搬距離 1 7 7 . 8 km						
	1	台				施工 第0-0027号内訳表
塗膜片処分						
受入価格 (塗膜片) 286kg						
	1	式				1 処分費
仮設工						

工事費内訳書

頁0-0006/0043

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
足場工						
足場						
主体足場工						
	190	m2				施工 第0-0028号内訳表
朝顔工						
	190	m2				施工 第0-0029号内訳表
シート張防護工						
	190	m2				施工 第0-0030号内訳表
剥離剤工用シート張防護工						
	190	m2				施工 第0-0031号内訳表
剥離剤工用シート張防護工						
	190	m2				施工 第0-0031号内訳表
交通管理工						
交通誘導警備員						

工事費内訳書

頁0-0007/0043

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費計	交通誘導警備員 B						施工 第0-0032号内訳表
		8		人日			
共通仮設費計							
技術管理費							
				式			
安全費	試験費 含有・溶出試験						施工 第0-0033号内訳表
		1		式			
安全対策工							施工 第0-0034号内訳表
		1		式			
共通仮設費率分							
				式			
純工事費計							

工事費内訳書

頁0-0008/0043

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費							
				式			
工事原価計							
一般管理費等							
				式			
工事価格計							
消費税相当額							
				式			
総 計							

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0009/0043

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

[規格1]		[規格2]	[摘要]		1	構造物	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役			人				
週休2日対象							1
特殊作業員			人				
週休2日対象							1
普通作業員			人				
週休2日対象							1
注入材			kg				
シーラ材			kg				
低圧注入器具			個				
諸雑費			%			#01	
単 位 当 り		1	構造物				
A 1 構造物当り補修延べ延長(m)		=0.5		1 構造物当り補修延べ延長(m)			
B ★★ 1 構造物当りの注入材使用量(kg)		=		★★ 1 構造物当りの注入材使用量(kg)			
C 1 構造物当りのシーラ材設計数量(kg)		=0.064		1 構造物当りのシーラ材設計数量(kg)			
D ★★ 1 構造物当りの低圧注入器具使用量(個)		=		★★ 1 構造物当りの低圧注入器具使用量(個)			
E ★★ 注入材の単価(円/kg)		=		★★ 注入材の単価(円/kg)			
F ★★ シーラ材の単価(円/kg)		=		★★ シーラ材の単価(円/kg)			
G ★★ 低圧注入器具の単価(円/個)		=		★★ 低圧注入器具の単価(円/個)			

施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0010/0043

断面修復工（左官工法）

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	構造物	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役				人				1
週休2日対象								
特殊作業員				人				1
週休2日対象								
普通作業員				人				1
週休2日対象								
断面修復材				m3				1
諸雑費				%			#01	
単 位 当 り		1		構造物				
A 作業区分				=1	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理->有り			
B 1 構造物当りの延べ体積(m3)				=0.24	1 構造物当りの延べ体積(m3)			
C ★★断面修復材の単価(円/m3)				=	★★断面修復材の単価(円/m3)			

頁0-0011/0043

当り

[illegible]

人力運搬(運搬～取卸し)

[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0012/0043

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員 週休2日対象			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	換算距離	=1		20m以下					

積込(ルーズ)
[規格1] 土質→土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0013/0043

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(2014年)]					バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 0.8/0.6m3			
	K									
	R1	運転手(特殊)					運転手(特殊) 週休2日対象			
	R									
	Z1	軽油 パトロール給油					軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	作業区分	=1		積込(ルーズ)					
	B	土質	=1		土砂					
	C	作業内容	=1		土量50,000m3未満					

殻運搬

[規格 1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0014/0043

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K									
	R1		運転手(一般)				運転手(一般) 週休2日対象			
	R									
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	殻発生作業	=1		コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
	B	積込工法区分	=1		機械					
	C	DID区間の有無	=1		無し					
	D	運搬距離	=25		10.9km以下					

施工単価表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0015/0043

処分費					
[規格1]コンクリート殻(無筋)		[規格2]		[摘要]	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単 位 当 り	1	式			
A 種 類		=4	C o 殻(無筋)		
B 処分量(m3又はt)		=0.2	処分量(m3又はt)		
C ★★投棄料(円/t)		=	★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0016/0043

沓座拡幅工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	箇所	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単	価	金 額	備 考	
チップング(厚2cm以下)		0.42	m2				施工	第0-0009号内訳表
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)(落橋防止)		8	孔				施工	第0-0010号内訳表
アンカー筋挿入(コンクリート沓座拡幅)		8	本				施工	第0-0011号内訳表
アンカー取付(エポキシ)用注入材 (エポキシ樹脂系)		0.25	kg					
鉄筋(沓座拡幅工) SD345 D13		0.005	t				施工	第0-0012号内訳表
鉄筋(沓座拡幅工) SD345 D16		0.009	t				施工	第0-0013号内訳表
鉄筋(沓座拡幅工) SD345 D25		0.029	t				施工	第0-0014号内訳表
型枠(沓座拡幅工)		0.8	m2				施工	第0-0015号内訳表
コンクリート(沓座拡幅工)		0.08	m3				施工	第0-0016号内訳表
単 位 当 り		1	箇所					

チップング (厚 2 cm以下)
[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0017/0043

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		普通作業員				週休2日対象 普通作業員			
	R3		土木一般世話役				週休2日対象 土木一般世話役			
	R						週休2日対象			
	Z									
							計			
	積算単価	=								

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)(落橋防止)

[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0018/0043

[摘要]

1

孔 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R2		特殊作業員				週休2日対象 特殊作業員			
	R						週休2日対象			
	Z									
							計			
	積算単価	=								

アンカー筋挿入（コンクリート沓座拡幅）
[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0011号内訳表

1
頁0-0019/0043
本 当り

標準単価		代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		土木一般世話役				週休2日対象 土木一般世話役			
	R3		普通作業員				週休2日対象 普通作業員			
	R						週休2日対象			
	Z									
							計			
	積算単価 =									

鉄筋（沓座拡張工）

[規格 1] SD345 D13

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0020/0043

[摘要]

1

t 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		鉄筋工				鉄筋工			
	R2		普通作業員				週休2日対象 普通作業員			
	R3		土木一般世話役				週休2日対象 土木一般世話役			
	R						週休2日対象			
	Z1		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16				異形棒鋼 D13 (SD345)			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	鉄筋規格	=1		SD345 D13					

鉄筋（沓座拡張工）

[規格 1] SD345 D16

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0021/0043

[摘要]

1

t 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		鉄筋工				鉄筋工			
	R2		普通作業員				週休2日対象 普通作業員			
	R3		土木一般世話役				週休2日対象 土木一般世話役			
	R						週休2日対象			
	Z1		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16				異形棒鋼 D16～D25 (SD345)			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	鉄筋規格	=2		SD345 D16					

鉄筋（沓座拡張工）

[規格 1] SD345 D25

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0022/0043

[摘要]

1

t 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		鉄筋工				鉄筋工			
	R2		普通作業員				週休2日対象 普通作業員			
	R3		土木一般世話役				週休2日対象 土木一般世話役			
	R						週休2日対象			
	Z1		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16				異形棒鋼 D16～D25 (SD345)			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	鉄筋規格	=5		SD345 D25					

型枠（沓座拡張工）

[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0023/0043

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		型わく工				型わく工			
	R2		普通作業員				週休2日対象 普通作業員			
	R3		土木一般世話役				週休2日対象 土木一般世話役			
	R						週休2日対象			
	Z									
							計			
	積算単価 =									

コンクリート（沓座拡幅工）

[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0024/0043

1 m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	コンクリートポンプ車 圧送能力40～50m ³ /h [トラック架装・ブーム式]				コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 40～50m ³ /h			
	K								
	R1	特殊作業員				特殊作業員			
	R2	普通作業員				週休2日対象 普通作業員			
	R3	運転手(特殊)				週休2日対象 運転手(特殊)			
	R4	土木一般世話役				週休2日対象 土木一般世話役			
	R					週休2日対象			
	Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%				生コンクリート 24-8-20BB 水セメント比55%以下			
	Z2	軽油 パトロール給油				軽油			
	Z								
						計			
	積算単価	=							

コンクリート（沓座拡張工）

頁0-0025/0043

m3	当り
----	----

[illegible]

頁0-0026/0043

当り

30/132

頁0-0027/0043

当り

31/132

頁0-0028/0043

当り

32/132

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0029/0043

[規格 1] 1 回目

[規格 2]

[摘要]

10

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0030/0043

回収・積込み

[規格1] 2回目

[規格2]

[摘要]

10

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
廃材の回収・積込	10	m2			土木コスト情報1誌の単価*1.02(週休二日補正)
合 計	10	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0031/0043

〔規格 1〕3 種ケレン C（動力工具と手工具の併用） 〔規格 2〕

[摘要]

1	m2	当り
---	----	----

35/132

頁0-0032/0043

当り

36/132

頁0-0033/0043

当り

37/132

頁0-0034/0043

当り

38/132

頁0-0035/0043

当り

39/132

施工単価表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0036/0043

[規格1]			[規格2]		[摘要]		1	台	当り
名 称 ・ 規 格			数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
運搬費				台					
単 位 当 り			1	台					
A 車種別				=1	小型車(2tクラス)				
B 運搬距離(km)				=177.8	運搬距離(km)				

施工単価表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0037/0043

主体足場工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置：N 1	
週休2日対象								
橋りょう特殊工				人			撤去：N 2	
週休2日対象								
足場賃料		1.00		m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 足場の種類			=1		パイプ吊足場			
B 桁形式			=1		プレートガーダ・ボックスガーダ			
C 工種と区分			=11		兼用使用 (Case V：床版工事)			
E 床版用足場の供用月数 (x 2)			=0.5		床版用足場の供用月数 (x 2)			
I 主体足場の塗装工事期間の供用月数 (X 3)			=1.2		主体足場の塗装工事期間の供用月数 (X 3)			

施工単価表

施工 第0-0029号内訳表

頁0-0038/0043

朝顔工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置：N 1	
週休2日対象								
橋りょう特殊工				人			撤去：N 2	
週休2日対象								
足場賃料		1.00		m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 桁形式			=1		プレートガーダ・ボックスガーダ			
B 工種と区分			=6		兼用使用 (C a s e V：床版工事)			
C 床版用足場の供用月数 (x 2)			=0.5		床版用足場の供用月数 (x 2)			
D 朝顔の区分			=1		両側朝顔			

頁0-0039/0043

当り

43/132

頁0-0040/0043

当り

44/132

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0041/0043

[規格 1]

[規格 2]

〔摘要〕

人日 当り

45/132

施工単価表

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0042/0043

試験費

[規格1]含有・溶出試験

[規格2]

[摘要]

1

式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
含有試験 鉛	1	検体			建設物価と積算資料2誌の平均単価
含有試験 六価クロム	1	検体			建設物価と積算資料2誌の平均単価
含有試験 PCB	1	検体			建設物価と積算資料2誌の平均単価
溶出試験 鉛	1	検体			
溶出試験 6価クロム	1	検体			
溶出試験 PCB	1	検体			
単 位 当 り	1	式			

頁0-0043/0043

当り

[illegible]

総括情報表

頁0-0001/0043

単価適用年月日	0-07. 10. 01 (0)		
	今 回	前 回	
工種区分 (公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休 2 日補正	08 鋼橋架設 35 一般交通影響有り (2) - 2 02 補正なし 1.00 01 計上する 08 完全週休 2 日 (土日)		

工事費内訳書

頁0-0002/0043

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費	中組橋						
橋梁保全工事							
橋梁補修工							
ひび割れ補修工							
低圧注入工法							
ひび割れ補修工（低圧注入工法）							
		1		構造物			施工 第0-0001号内訳表
断面修復工							
左官工法							
断面修復工（左官工法）							
		1		構造物			施工 第0-0002号内訳表

工事費内訳書

頁0-0003/0043

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面修復工（左官工法）						
	1		構造物			施工 第0-0003号内訳表
Co殻運搬						
	0.1		m3			施工 第0-0004号内訳表
処分費 コンクリート殻（無筋） ；投棄量0. 1 m3						
	1		式			施工 第0-0008号内訳表
主桁補修工						
主桁補修工						
主桁補修工						
	1		箇所			施工 第0-0009号内訳表
目地材補修工						
目地材補修						
目地材補修工						
	7		m			施工 第0-0015号内訳表

工事費内訳書

頁0-0004/0043

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
水切り工						
水切り工						
水切り材設置工						
見積歩掛	18	m				施工 第0-0016号内訳表
現場塗装工						
橋梁塗装工						
素地調整						
塗替塗装 [清掃・水洗い]						
	31	m2				施工 第0-0017号内訳表
塗膜剥離工 1回目						
見積歩掛	31	m2				施工 第0-0018号内訳表
塗膜剥離工 2回目						
見積歩掛	31	m2				施工 第0-0019号内訳表

工事費内訳書

頁0-0005/0043

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
回収・積込み 1 回目						
見積歩掛	31	m2				施工 第0-0020号内訳表
回収・積込み 2 回目						
見積歩掛	31	m2				施工 第0-0021号内訳表
塗替塗装 [素地調整] 3 種ケレンC (動力工具と手工具の併用)						
	31	m2				施工 第0-0022号内訳表
下塗						
塗替塗装 [下塗り] 弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料 (ハケ・ローラー) 1 層						
	31	m2				施工 第0-0023号内訳表
塗替塗装 [下塗り] 弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料 (ハケ・ローラー) 2 層						
	31	m2				施工 第0-0024号内訳表
中塗						
塗替塗装 [中塗り] 弱溶剤形ふっ素樹脂 [濃彩]						
	31	m2				施工 第0-0025号内訳表
上塗						

工事費内訳書

頁0-0006/0043

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗替塗装 [上塗り] 弱溶剤形ふっ素樹脂[濃彩]						
	31	m2				施工 第0-0026号内訳表
運搬処理工						
塗膜片運搬						
運搬費 ; 運搬距離 1 8 3 . 6 km	1	台				施工 第0-0027号内訳表
塗膜片処分						
受入価格 (塗膜片) 28kg	1	式				1 処分費
仮設工						
足場工						
足場						

工事費内訳書

頁0-0007/0043

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
主体足場工						
	30	m2				施工 第0-0028号内訳表
朝顔工						
	30	m2				施工 第0-0029号内訳表
シート張防護工						
	30	m2				施工 第0-0030号内訳表
剥離剤工用シート張防護工						
	30	m2				施工 第0-0031号内訳表
剥離剤工用シート張防護工						
	30	m2				施工 第0-0031号内訳表
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	4	人日				施工 第0-0032号内訳表
直接工事費計						

工事費内訳書

頁0-0008/0043

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計							
安全費							
				式			
安全対策工							施工 第0-0033号内訳表
		1		式			
共通仮設費率分							
				式			
純工事費計							
現場管理費							
				式			
工事原価計							
一般管理費等							
				式			
工事価格計							

工事費内訳書

頁0-0009/0043

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税相当額							
総 計				式			

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0010/0043

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

[規格1]		[規格2]	[摘要]		1	構造物	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役			人				
週休2日対象							1
特殊作業員			人				
週休2日対象							1
普通作業員			人				
週休2日対象							1
注入材			kg				
シーラ材			kg				
低圧注入器具			個				
諸雑費			%			#01	
単 位 当 り		1	構造物				
A 1 構造物当り補修延べ延長(m)		=3		1 構造物当り補修延べ延長(m)			
B ★★ 1 構造物当りの注入材使用量(kg)		=		★★ 1 構造物当りの注入材使用量(kg)			
C 1 構造物当りのシーラ材設計数量(kg)		=0.383		1 構造物当りのシーラ材設計数量(kg)			
D ★★ 1 構造物当りの低圧注入器具使用量(個)		=		★★ 1 構造物当りの低圧注入器具使用量(個)			
E ★★ 注入材の単価(円/kg)		=		★★ 注入材の単価(円/kg)			
F ★★ シーラ材の単価(円/kg)		=		★★ シーラ材の単価(円/kg)			
G ★★ 低圧注入器具の単価(円/個)		=		★★ 低圧注入器具の単価(円/個)			

施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0011/0043

断面修復工（左官工法）

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	構造物	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役				人				
週休2日対象								1
特殊作業員				人				
週休2日対象								1
普通作業員				人				
週休2日対象								1
断面修復材				m3				
諸雑費				%			#01	
単 位 当 り		1		構造物				
A 作業区分				=1	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理->有り			
B 1 構造物当りの延べ体積(m3)				=0.04	1 構造物当りの延べ体積(m3)			
C ★★断面修復材の単価(円/m3)				=	★★断面修復材の単価(円/m3)			

施工単価表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0012/0043

断面修復工（左官工法）

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	構造物	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役				人				
週休2日対象								1
特殊作業員				人				
週休2日対象								1
普通作業員				人				
週休2日対象								1
断面修復材				m3				
諸雑費				%			#01	
単 位 当 り		1		構造物				
A 作業区分			=2		鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理->無し			
B 1 構造物当りの延べ体積(m3)			=0.02		1 構造物当りの延べ体積(m3)			
C ★★断面修復材の単価(円/m3)			=		★★断面修復材の単価(円/m3)			

施工単価表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0013/0043

Co殻運搬

[規格1]		[規格2]		[摘要]		10	m3	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
人力運搬(運搬～取卸し)		10		m3			施工 第0-0005号内訳表	
積込(ルーズ) 土質→土砂		10		m3			施工 第0-0006号内訳表	
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし		10		m3			施工 第0-0007号内訳表	
合 計		10		m3				
単 位 当 り		1		m3				

人力運搬(運搬～取卸し)

[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0014/0043

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員 週休2日対象			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	換算距離	=1		20m以下					

積込(ルーズ)
[規格1] 土質→土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0015/0043

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(2014年)]				バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 0.8/0.6m3			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊) 週休2日対象			
	R									
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	作業区分	=1		積込(ルーズ)					
	B	土質	=1		土砂					
	C	作業内容	=1		土量50,000m3未満					

殻運搬

[規格 1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0016/0043

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K									
	R1		運転手(一般)				運転手(一般) 週休2日対象			
	R									
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	殻発生作業	=1		コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
	B	積込工法区分	=1		機械					
	C	DID区間の有無	=1		無し					
	D	運搬距離	=20		8.0km以下					

施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0017/0043

処分費					
[規格1]コンクリート殻(無筋)		[規格2]		[摘要]	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単 位 当 り	1	式			
A 種 類		=4	C o 殻(無筋)		
B 処分量(m3又はt)		=0.1	処分量(m3又はt)		
C ★★投棄料(円/t)		=	★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0018/0043

主桁補修工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	箇所	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単	価	金 額	備 考	
芯出し調整工		0.2	m2				施工 第0-0010号内訳表	
鋼桁孔明工		14	本				橋梁補修の解説と積算1誌の歩掛 施工 第0-0011号内訳表	
不陸整正工		0.2	m2				橋梁補修の解説と積算1誌の歩掛 施工 第0-0012号内訳表	
当て板取付工 ボルトによる補強部材 200kg以下 当て板取付		2	部材				見積歩掛及び見積単価 施工 第0-0013号内訳表	
補修工事高力ボルト本締工		14	本				見積歩掛及び見積単価 施工 第0-0014号内訳表	
素地調整工 2種ケレン相当 小規模(施工規模0.2m2) 見積単価		1	式				橋梁補修の解説と積算1誌の歩掛 見積単価*1.02(週休二日補正)	
単 位 当 り		1	箇所					

施工単価表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0019/0043

芯出し調整工

[規格1]		[規格2]		[摘要] 橋梁補修の解説と積算1誌の歩掛		10	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
橋りょう世話役		1.0	人					1
週休2日対象								
橋りょう特殊工		4.0	人					1
週休2日対象								
普通作業員		6.0	人					1
週休2日対象								
諸雑費		7	%			#01 対象：労務費		
合 計		10	m2					
単 位 当 り		1	m2					

施工単価表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0020/0043

鋼桁孔明工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		80	本	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
橋りょう世話役		1.0	人					1
週休2日対象								
橋りょう特殊工		3.0	人					1
週休2日対象								
普通作業員		1.0	人					1
週休2日対象								
諸雑費		25	%			#01 対象：労務費		
合 計		80	本					
単 位 当 り		1	本					

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0021/0043

不陸整正工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		見積歩掛及び見積単価	4.5	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
橋りょう世話役		2.0		人					
週休2日対象									
橋りょう塗装工		2.0		人					
週休2日対象									
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA		2.07		日					
雑材料 不陸整正工 専用テープ、クリーナー		1		式				見積単価	
エポキシ樹脂パテ 鉄メタル同等品以上		4.5		kg				見積単価	
合 計		4.5		m2					
単 位 当 り		1		m2					

施工単価表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0022/0043

当て板取付工

[規格1]ボルトによる補強部材 200kg以下

[規格2]当て板取付

[摘要] 見積歩掛及び見積単価

16

部材 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	1.0	人			1
週休2日対象					
橋りょう特殊工	3.0	人			1
週休2日対象					
普通作業員	1.0	人			1
週休2日対象					
諸雑費	22	%			#01 対象：労務費
当て板 0.24m×0.42m t=0.012m SS400 7.85kg 同等品以上	32	枚			見積単価
合 計	16	部材			
単 位 当 り	1	部材			

施工単価表

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0023/0043

補修工事高力ボルト本締工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		130	本	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
橋りょう世話役		1.0	人					1
週休2日対象								
橋りょう特殊工		3.0	人					1
週休2日対象								
普通作業員		1.0	人					1
週休2日対象								
諸雑費		17	%					
						#01 対象：労務費		
高力ボルト(F10T M22) L=90mm(六角)		130	組					
合 計		130	本					
単 位 当 り		1	本					

施工単価表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0024/0043

目 地材補修工

[規格1]		[規格2]	[摘要]		7.8	m	当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役	1.0	人					
週休2日対象							1
特殊作業員	2.0	人					
週休2日対象							1
普通作業員	2.0	人					
週休2日対象							1
ハンドカッター モータ式 ブレード別 機械損料	1	台			見積単価		1
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 4.5/5kVA	1	日					1
電動ブレーカー ピックハンマ 質量7.2kg 機械損料	1	台			見積単価		1
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t積級	1	日					1
諸雑費	10	%			#01 対象：労務費・機械損料		
高機能止水材 メジエイトMA30同等品以上	8.0	m			見積単価		2
シール材 シリコン系	5.2	L			見積単価		2
雑品	5	%			#02 対象：材料費		
合 計	7.8	m					

施工単価表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0025/0043

目地材補修工

[規格1]

[規格2]

[摘要]

7.8

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0026/0043

水切り材設置工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		見積歩掛	20	m	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
土木一般世話役		0.5	人						1
週休2日対象									
特殊作業員		0.5	人						1
週休2日対象									
普通作業員		1.0	人						1
週休2日対象									
諸雑費		7	%						
						#01 対象：労務費			
ウォーターカッター		20	m						
アオイ化学工業㈱ウォーターカッター									
同等品以上						建設物価1誌の単価			
合 計		20	m						
単 位 当 り		1	m						

頁0-0027/0043

当り

74/132

施工単価表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0028/0043

塗膜剥離工

[規格1] 1回目		[規格2]		[摘要] 見積歩掛		31.5	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
橋りょう世話役		1.0	人					1
週休2日対象								
橋りょう塗装工		2.0	人					1
週休2日対象								
諸雑費		10	%			#01 対象：労務費		
塗膜剥離剤		15.8	kg			建設物価と積算資料2誌の平均単価		
STRIPPER同等品以上								
建設物価と積算資料の平均単価								
合 計		31.5	m2					
単 位 当 り		1	m2					

施工単価表

施工 第0-0019号内訳表

頁0-0029/0043

塗膜剥離工

[規格1] 2回目

[規格2]

[摘要] 見積歩掛

31.5

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役 週休2日対象	1.0	人			1
橋りょう塗装工 週休2日対象	2.0	人			1
諸雑費	10	%			#01 対象：労務費
塗膜剥離剤 STRIPPER同等品以上 建設物価と積算資料の平均単価	15.8	kg			建設物価と積算資料2誌の平均単価
合 計	31.5	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0030/0043

回収・積込み

[規格1] 1回目

[規格2]

[摘要] 見積歩掛

31.5

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役 週休2日対象	1.0	人			
橋りょう塗装工 週休2日対象	2.0	人			
普通作業員 週休2日対象	1.0	人			
合 計	31.5	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0031/0043

回収・積込み

[規格1] 2回目

[規格2]

[摘要] 見積歩掛

31.5

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役 週休2日対象	1.0	人			
橋りょう塗装工 週休2日対象	2.0	人			
普通作業員 週休2日対象	1.0	人			
合 計	31.5	m2			
単 位 当 り	1	m2			

頁0-0032/0043

1	m2	当り
---	----	----

79/132

頁0-0033/0043

当り

80/132

頁0-0034/0043

1	m2	当り
---	----	----

81/132

頁0-0035/0043

当り

82/132

頁0-0036/0043

当り

83/132

施工単価表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0037/0043

[規格1]			[規格2]			[摘要]			1	台	当り
名 称 ・ 規 格			数 量	単 位	単 価	金 額	備 考				
運搬費				台							
単 位 当 り			1	台							
A 車種別				=1	小型車(2tクラス)						
B 運搬距離(km)				=183.6	運搬距離(km)						

施工単価表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0038/0043

主体足場工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置：N 1	
週休2日対象								
橋りょう特殊工				人			撤去：N 2	
週休2日対象								
足場賃料		1.00		m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 足場の種類			=1		パイプ吊足場			
B 桁形式			=1		プレートガーダ・ボックスガーダ			
C 工種と区分			=11		兼用使用 (Case V：床版工事)			
E 床版用足場の供用月数 (x 2)			=0.2		床版用足場の供用月数 (x 2)			
I 主体足場の塗装工事期間の供用月数 (X 3)			=0.1		主体足場の塗装工事期間の供用月数 (X 3)			

施工単価表

施工 第0-0029号内訳表

頁0-0039/0043

朝顔工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置：N 1	
週休2日対象								
橋りょう特殊工				人			撤去：N 2	
週休2日対象								
足場賃料		1.00		m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 桁形式				=1	プレートガーダ・ボックスガーダ			
B 工種と区分				=6	兼用使用 (C a s e V：床版工事)			
C 床版用足場の供用月数 (x 2)				=0.2	床版用足場の供用月数 (x 2)			
D 朝顔の区分				=1	両側朝顔			

頁0-0040/0043

当り

87/132

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0041/0043

[規格 1]

[規格 2]

〔摘要〕

当り

88/132

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0042/0043

[規格 1]

[規格 2]

〔摘要〕

人日 当り

89/132

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0043/0043

[規格 1]

[規格 2]

〔摘要〕

式

当り

[illegible]

積算参考資料

本工事の積算で設定した見積単価及び特別調査単価を以下に示す。

注) 本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

名称	規格等	単位	採用単価(円)
素地調整工 週休二日対象	2種ケレン相当 小規模(施工規模0.2m ²)	式	10,625
雑材料 (不陸整正工)	専用テープ クリーナー	式	2,000
エポキシ樹脂パテ	鉄メタル同等品以上	kg	16,065
当て板	0.24m×0.42 t=0.012m SS400 7.85kg 同等品以上	枚	16,000
ハンドカッター 機械損料	モータ式 ブレード別	台	1,900
電動ブレーカー 機械損料	ピックハンマ 質量7.2kg	台	500
高機能止水材	メジエイドMA30 同等品以上	m	14,300
シール材	シリコン系	L	7,600
塗膜片処分 受入価格	西福橋 286kg	式	154,440
塗膜片処分 受入価格	中組橋 28kg	式	80,000
名称	規格等	単位	採用元
注入材	エポキシ樹脂系 BLグラウト同等品以上	kg	建設物価・積算資料2誌の平均単価
シール材	不飽和ポリエステル系 BLシール同等品以上	kg	積算資料1誌の単価
低圧注入器具	補充可能型注入器具 BLインジェクター同等品以上	個	積算資料1誌の単価

数量総括表

西福橋他橋梁修繕工事

【西福橋】

工種1	工種2	種 別	細 別	形 状	数 量 計 算	単位	数 量	摘 要
橋梁補修工								
	ひびわれ補修工	ひびわれ注工	低圧注入		0.50 m	= 1.0 構造物	1	
	断面修復工	左官工法	断面修復工	鉄筋ケレン有 左官	0.24 m ²	= 1.0 構造物	1	
		殻運搬	殻運搬	運搬距離L=10.9km以下	0.24	= 0.24 m ³	0.2	
		殻処分	処分費	Co殻 無筋		= 1.0 式	1	V=0.2m ³
	支承部分補修工	沓座拡幅工	沓座拡幅工		3.0	= 3.0 箇所	3	
現場塗装工								
	塗装塗替工	塗装塗替	塗替塗装	清掃・水洗	318.6	= 318.6 m ²	318	
			塗膜剥離	1回目	318.6	= 318.6 m ²	318	
			塗膜剥離	2回目	318.6	= 318.6 m ²	318	
			廃材回収積込	1回目	318.6	= 318.6 m ²	318	
			廃材回収積込	2回目	318.6	= 318.6 m ²	318	
			塗膜塗装(素地調整)	3種ケレン	318.6	= 318.6 m ²	318	
			塗膜塗装(下塗)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂 はけ・ローラー 1層	318.6	= 318.6 m ²	318	

数 量 総 括 表

西福橋他橋梁修繕工事

【 西 福 橋 】

工種1	工種2	種 別	細 別	形 状	数 量 計 算	単位	数 量	摘 要
			塗膜塗装(下塗)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂 はけ・ローラー 2層	318.6 = 318.6	m2	318	
			塗膜塗装(中塗)	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー 濃彩	318.6 = 318.6	m2	318	
			塗膜塗装(上塗)	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー 濃彩	318.6 = 318.6	m2	318	
		塗膜片運搬	塗膜片運搬	運搬距離L=177.8km	= 1.0	式	1	
		塗膜片処分	塗膜片処分費		= 1.0	式	1	286kg
仮設工								
	足場工	足場	主体足場工		190.7 = 190.7	m2	190	
			朝顔工		190.7 = 190.7	m2	190	
			シート張防護工		190.7 = 190.7	m2	190	
			塗膜除去用養生シート工		190.7 = 190.7	m2	190	
			塗膜除去用養生シート工		190.7 = 190.7	m2	190	
	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員	B	8.0 = 8.0	人日	8	
技術管理費								
	技術管理費	試験費	含有・溶出試験		1.0	式	1	

[illegible]

数 量 総 括 表

西福橋他橋梁修繕工事

【 中 組 橋 】

工種1	工種2	種 別	細 別	形 状	数 量 計 算	単位	数 量	摘 要
橋梁補修工								
	ひびわれ補修工	ひびわれ注工	低圧注入		3.00 m = 1.0	構造物	1	
	断面修復工	左官工法	断面修復工	鉄筋ケレン有 左官	0.04 m = 1.0	構造物	1	
			断面修復工	鉄筋ケレン無 左官	0.02 m = 1.0	構造物	1	
		殻運搬	殻運搬	人力積込 運搬距離L=8.5km以下	0.04 + 0.02 = 0.06	m3	0.1	
		殻処分	処分費	Co殻 無筋	= 1.0	式	1	V=0.1m3
主桁補修工	主桁補修工	補強板取付			1.0 = 1.0	箇所	1	
	目地材補修工	目地材補修工	目地補修	シール材・止水材による 補修	7.6 = 7.6	m	7	
	水切り工	水切り工	水切り材設置工		18.2 = 18.2	m	18	
現場塗装工								
	塗装塗替工	素地調整	塗替塗装	清掃・水洗	31.7 = 31.7	m2	31	
			塗膜剥離	1回目	31.7 = 31.7	m2	31	
			塗膜剥離	2回目	31.7 = 31.7	m2	31	
			廃材回収積込	1回目	31.7 = 31.7	m2	31	

数 量 総 括 表

西福橋他橋梁修繕工事

【 中 組 橋 】

工種1	工種2	種 別	細 別	形 状	数 量 計 算	単位	数 量	摘 要
			廃材回収積込	2回目	31.7 = 31.7	m2	31	
			塗膜塗装(素地調整)	3種ケレン	31.7 = 31.7	m2	31	
			塗膜塗装(下塗)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂 はけ・ローラー 1層	31.7 = 31.7	m2	31	
			塗膜塗装(下塗)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂 はけ・ローラー 2層	31.7 = 31.7	m2	31	
			塗膜塗装(中塗)	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー 濃彩	31.7 = 31.7	m2	31	
			塗膜塗装(上塗)	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー 濃彩	31.7 = 31.7	m2	31	
		塗膜片運搬	塗膜片運搬	運搬距離L183.6km	= 1.0	式	1	
		塗膜片処分	塗膜片処分費		= 1.0	式	1	28kg
仮設工								
	足場工	足場	主体足場工		34.8 = 34.8	m2	30	
			朝顔工		34.8 = 34.8	m2	30	
			シート張防護工		34.8 = 34.8	m2	30	
			塗膜除去用養生シート工		34.8 = 34.8	m2	30	
			塗膜除去用養生シート工		34.8 = 34.8	m2	30	

[illegible]

1. ひび割れ注工

種別： ひびわれ補修工(ひび割れ注工)
 ブロック： 下部工
 区分： 橋台

ひびわれ注工数量

下部工

径間	箇所	幅 (mm)	長さ (m)	延長 (m)
橋台A1	1	0.5	0.50	0.50
合計	-	-	-	0.50

シーラ材 エポキシ樹脂系 (単位質量 1700 kg/m³)
 注入材 エポキシ樹脂系 (単位質量 1150 kg/m³)

ひびわれ深さ 50 mmと仮定する
 シール幅 50 mm、シール厚さ 1.5 mmと仮定する

注工法

シーラ材

	延長(m)	(kg/m ³)	(kg)
頂板	$0.050 \times 0.0015 \times 1.0 \times 0.50 \times 1700$		0.064

注入材 (ひびわれ幅は平均値を使用する)

	延長(m)	(kg/m ³)	補正係数	(kg)
頂板	$0.0005 \times 0.050 \times 0.5 \times 0.50 \times 1150 \times 1.15$			0.008

注入器具 (ひびわれ幅は平均値を使用する)

		(個)
頂板	$0.5 \div 0.25 = 2.0$	2.0

2. 断面修復工

位 置	断面修復(m2)									
	鉄筋露出・浮き(深さ50mm)－有筋									
	鉄筋露出・欠け (深さ50mm)－有筋									
	No.	縦 ×	横 =	面積	No.	縦 ×	横 =	面積	No.	縦 × 横 = 面積
	1	0.20×	0.20=	0.04	33	0.30×	0.60=	0.18		
	2	0.20×	0.20=	0.04	34	0.30×	0.90=	0.27		
	3	0.20×	0.20=	0.04						
	4	0.12×	0.20=	0.02						
	5	0.60×	0.45=	0.27						
	6	0.30×	1.20=	0.36						
	7	0.30×	1.20=	0.36						
	8	0.60×	1.20=	0.72						
	9	0.30×	1.20=	0.36						
	10	0.70×	0.30=	0.21						
	11	0.50×	0.20=	0.10						
	12	0.20×	0.40=	0.08						
	13	0.50×	0.20=	0.10						
	14	0.40×	0.40=	0.16						
	15	0.10×	0.25=	0.03						
	16	0.20×	0.75=	0.15						
	17	0.50×	0.30=	0.15						
	18	0.10×	0.15=	0.02						
	19	0.10×	0.15=	0.02						
	20	0.10×	0.12=	0.01						
	21	0.25×	0.10=	0.03						
	22	0.25×	0.15=	0.04						
	23	0.25×	0.10=	0.03						
	24	0.10×	0.25=	0.03						
	25	0.10×	0.25=	0.03						
	26	0.10×	0.25=	0.03						
	27	0.10×	0.25=	0.03						
	28	0.10×	0.25=	0.03						
	29	0.10×	0.25=	0.03						
	30	1.02×	0.35=	0.36						
	31	0.25×	0.07=	0.02						
	32	1.02×	0.35=	0.36						
合 計		4.26 m ²				0.45 m ²				m ²
計 算		体積換算 ×	0.05		体積換算 ×	0.05		体積換算 ×		
		= 0.213	m ³		= 0.023	m ³		=		m ³
		合計 0.24 m ³								

3. 塗替塗装工

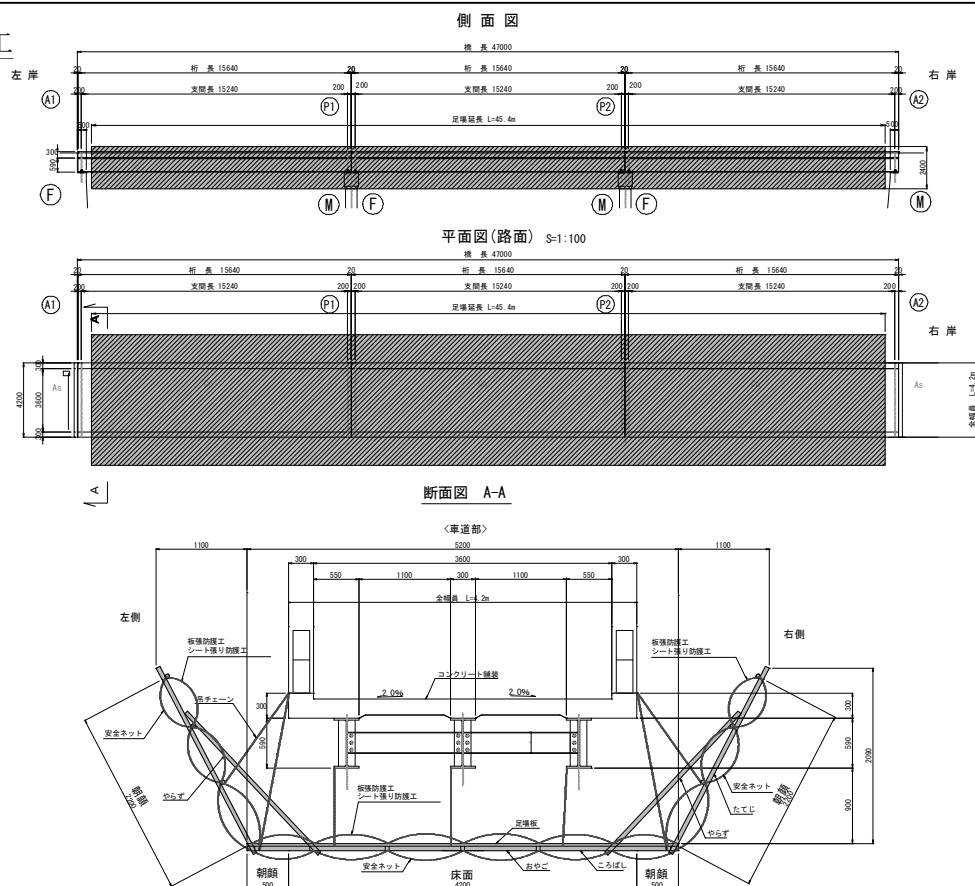
部 材	部 位	寸 法(m)		箇 所	面 積(m ²)	備 考
		幅	長さ			
①主桁端部	U.Flg	0.020	0.900	2	0.036	
(主桁01-03)	U.Flg	0.115	0.900	2	0.207	
I -590×300(～200)×20×20	Web	0.550	0.900	2	0.990	
※平均フランジ幅250	L.Flg	0.115	0.900	2	0.207	
	L.Flg	0.020	0.900	2	0.036	
	L.Flg	0.250	0.900	1	0.225	
	控除	0.200	0.200	1	-0.040	支承接合部
				1-Σ=	1.660	m ²
			①小計	18-Σ=	29.880	m ²
②主桁中央部	U.Flg	0.020	13.840	2	0.554	
(主桁01-03)	U.Flg	0.140	13.840	2	3.875	
I -590×300×20×20	Web	0.550	13.840	2	15.224	
※フランジ幅300	L.Flg	0.140	13.840	2	3.875	
	L.Flg	0.020	13.840	2	0.554	
	L.Flg	0.300	13.840	1	4.152	
				1-Σ=	28.230	m ²
			②小計	9-Σ=	254.070	m ²
③横桁	U.Flg	0.013	1.380	1	0.018	
(端部・中間部)	U.Flg	0.081	1.380	1	0.112	
[-250×90×9×13	U.Flg	0.090	1.380	1	0.124	
	Web	0.224	1.380	1	0.309	
	Web	0.250	1.380	1	0.345	
	L.Flg	0.013	1.380	1	0.018	
	L.Flg	0.081	1.380	1	0.112	
	L.Flg	0.090	1.380	1	0.124	
				1-Σ=	1.162	m ²
			③小計	24-Σ=	27.888	m ²
③-1 横桁接合部 (端部のみ)	前面・背面	0.090	0.550	2	0.099	
垂直補剛材	側面	0.009	0.550	1	0.005	
(t=9mm)				1-Σ=	0.104	m ²
			③-1小計	12-Σ=	1.248	m ²
③-2 横桁接合部 (端部・中間部)	前面・背面	0.090	0.300	2	0.054	0.025+0.275=0.3
垂直補剛材	側面	0.009	0.050	1	0.0005	0.025+0.025=0.05
(t=9mm)				1-Σ=	0.055	m ²
			③-2小計	48-Σ=	2.640	m ²
③-3 横桁接合部 (端部のみ)	前面・背面	0.070	0.250	1	0.018	三角形なので2面を1面と考える
垂直補剛材	側面	0.009	0.260	1	0.0023	
(t=9mm)				1-Σ=	0.020	m ²
			③-3小計	24-Σ=	0.480	m ²
④支承 (線支承)	正面	AutoCadに よる 面積算定	0.03	2	0.060	正面
<自由端・固定端>	平面		0.04	1	0.040	平面
	側面		0.03	1	0.030	側面
				1-Σ=	0.130	m ²
		④合計		18-Σ=	2.340	m ²
				合計	318.55	m ²

西福橋

101/132

算式根拠となる構造図

名称:足場工

[illegible]

中組橋

1. ひび割れ注土工

種別： ひびわれ補修工(ひび割れ注土工)
 ブロック： 下部工
 区分： 橋台

ひびわれ注土工数量

下部工

番号	箇所	幅 (mm)	長さ (m)	延長 (m)
1	1	0.2	0.40	0.40
2	1	0.2	0.65	0.65
3	1	0.2	0.55	0.55
4	1	0.2	0.50	0.50
5	1	0.2	0.50	0.50
6	1	0.2	0.40	0.40
合計	-	-	-	3.00

シーラ材 エポキシ樹脂系 (単位質量 1700 kg/m³)
 注入材 エポキシ樹脂系 (単位質量 1150 kg/m³)

ひびわれ深さ 40 mmと仮定する
 シール幅 50 mm、シーラ厚さ 1.5 mmと仮定する

注土工法

シーラ材

	延長(m)	(kg/m ³)	(kg)
頂板	0.050 × 0.0015 × 1.0 × 3.00 × 1700		0.383

注入材 (ひびわれ幅は平均値を使用する)

	延長(m)	(kg/m ³)	補正係数	(kg)
頂板	0.00003 × 0.040 × 0.5 × 3.00 × 1150 × 1.15			0.002

注入器具 (ひびわれ幅は平均値を使用する)

		(個)
頂板	3.0 ÷ 0.25 = 12.0	12.0

2. 断面修復工

中組橋

項 目	規 格	算 式	単位	数 量
ケレン有り 修復面積		0.863	m ²	0.863
修 復 材	ポ リマーセメント	0.0431	m ³	0.0431
	モルタル	0.0431 × 1640 kg/m ³	kg	70.7
ケレン無し 修復面積		0.885	m ²	0.885
修 復 材	ポ リマーセメント	0.0177	m ³	0.0177
	モルタル	0.0177 × 1640 kg/m ³	kg	29.0

【数量内訳】

ケレン有り 修復材

【鉄筋露出】					
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)			面積 (m2)	体積 (m3)
1	200	×	600 × 50	0.1200	0.00600
2	250	×	250 × 50	0.0625	0.00313
3	1700	×	300 × 50	0.5100	0.02550
4	100	×	150 × 50	0.0150	0.00075
5	350	×	100 × 50	0.0350	0.00175
6	100	×	100 × 50	0.0100	0.00050
7	50	×	500 × 50	0.0250	0.00125
8	200	×	200 × 50	0.0400	0.00200
9	300	×	150 × 50	0.0450	0.00225
小 計				0.8625	0.04313

ケレン無し 修復材

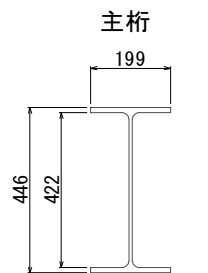
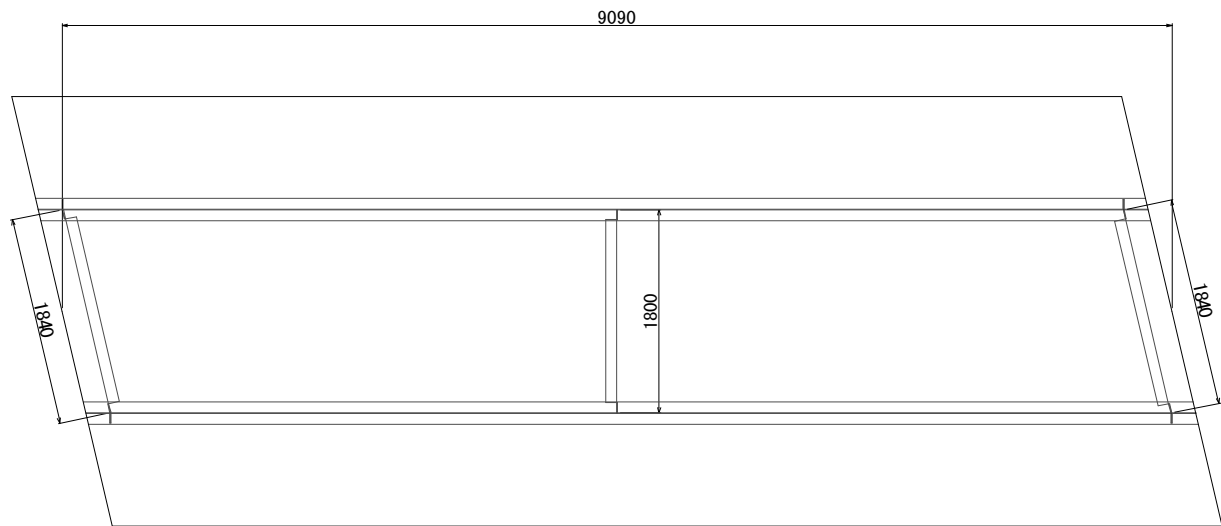
【うき】					
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)			面積 (m2)	体積 (m3)
1	150	×	300 × 20	0.0450	0.00090
2	200	×	600 × 20	0.1200	0.00240
3	500	×	300 × 20	0.1500	0.00300
4	150	×	400 × 20	0.0600	0.00120
5	200	×	250 × 20	0.0500	0.00100
6	250	×	300 × 20	0.0750	0.00150
7	100	×	250 × 20	0.0250	0.00050
8	300	×	300 × 20	0.0900	0.00180
9	150	×	100 × 20	0.0150	0.00030
10	100	×	200 × 20	0.0200	0.00040
11	450	×	200 × 20	0.0900	0.00180
12	100	×	150 × 20	0.0150	0.00030
13	100	×	100 × 20	0.0100	0.00020
14	300	×	400 × 20	0.1200	0.00240
小 計				0.8850	0.01770

3. 塗替塗装工

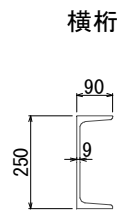
算 出 図

中組橋

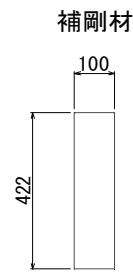
平面図



H446 × 199 × 8 × 12



□ 250 × 90 × 9
0.0235m²/kg
34.6kg/m
0.8131m²/m

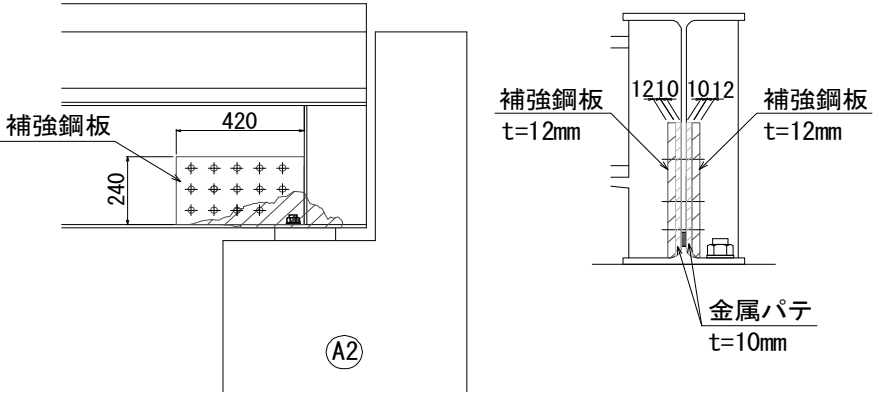


項 目	規 格	算 式	単位	数 量
主桁	フランジ	0.1990 × 9.090 m × 3 面 × 2 本	m ²	10.853
	ウェブ	0.4220 × 9.090 m × 2 面 × 2 本	m ²	15.344
横桁	端横桁	0.8130 m ² /m × 1.840 m × 2 本	m ²	2.992
	中間横桁	0.8130 m ² /m × 1.800 m × 1 本	m ²	1.463
補剛材		0.1000 × 0.422 × 2 面 × 10 箇所	m ²	0.844
主桁補強工	補強板部	0.2400 × 0.420	m ²	0.101
		0.2400 × 0.420	m ²	0.101
		合計		31.698

4. 主桁補強工

算 出 図

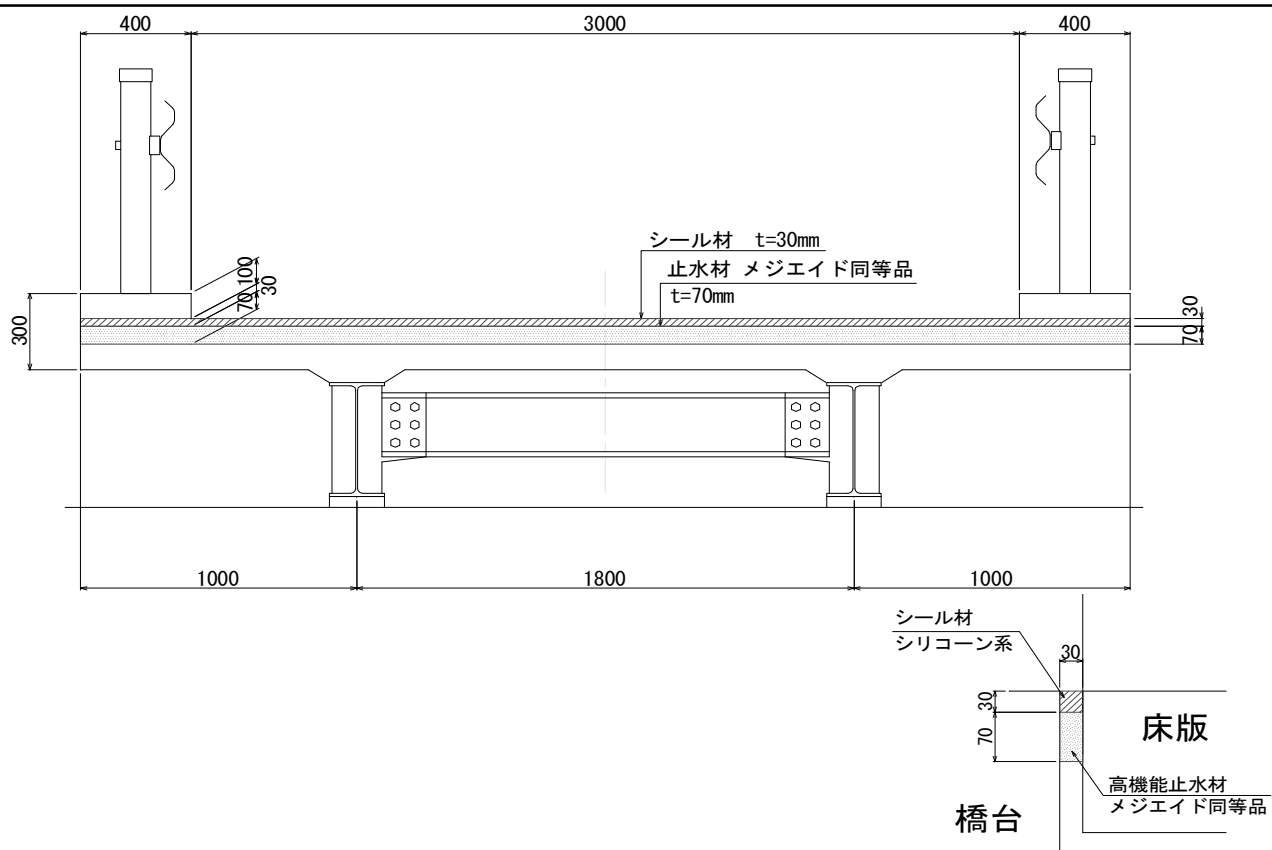
中組橋



項 目	規 格	算 式	単位	数 量
補強鋼板	SS400	$0.2400 \times 0.012 \times 0.420 \times 7850 \times 2 \text{ 枚}$	kg	19.0
現場孔明	φ 24.5 孔		孔	14
高力ボルト	S10T	M22 × 90	本	14
高力ボルト本締め		M22	本	14
金属パテ		$0.2400 \times 0.010 \times 0.420 \times 2$	m ³	0.002
		$0.002 \times 2300 \text{ kg/m}^3$	kg	4.6
素地調整	2 種ケレン	0.2400×0.420	m ²	0.101
		0.2400×0.420	m ²	0.101
			合計	0.202

5. 目地材補修工

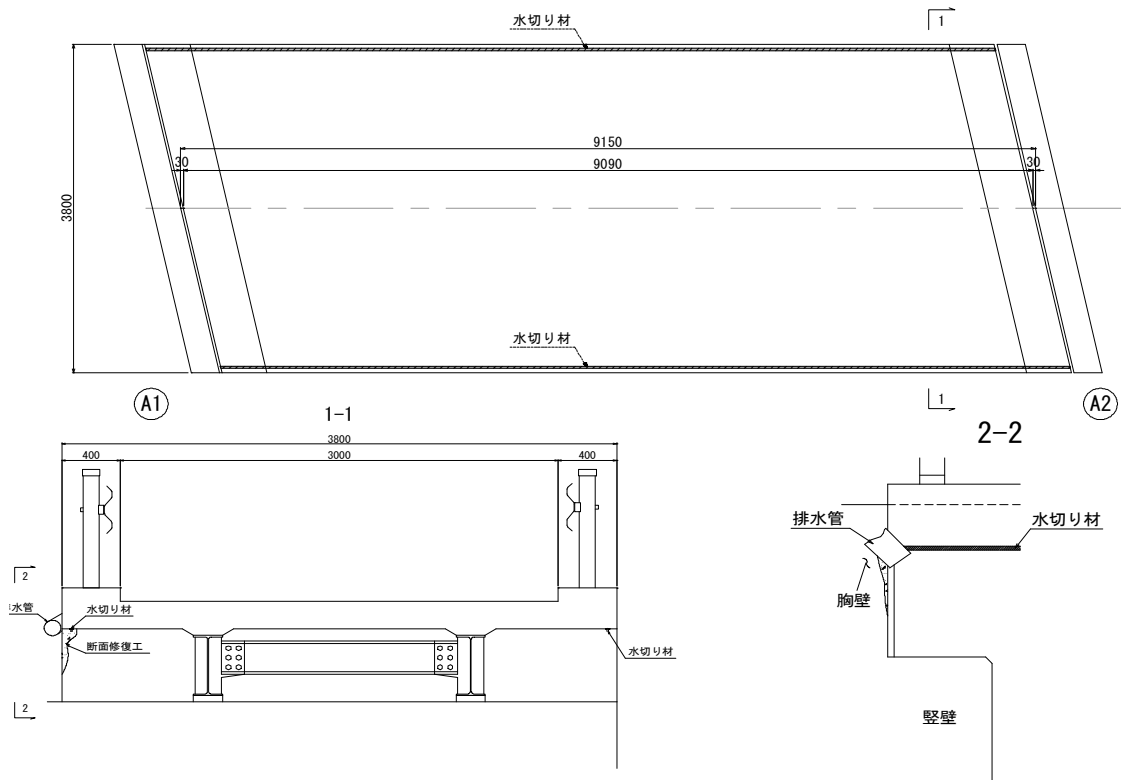
算 出 図



項 目	規 格	算 式	単位	数 量
シール材	シリコン系 h=20mm	(3.000 + (0.400 + 0.400)) × 2	m	7.600
高機能止水材	合成ゴム発泡体		m	7.600

6. 水切り工

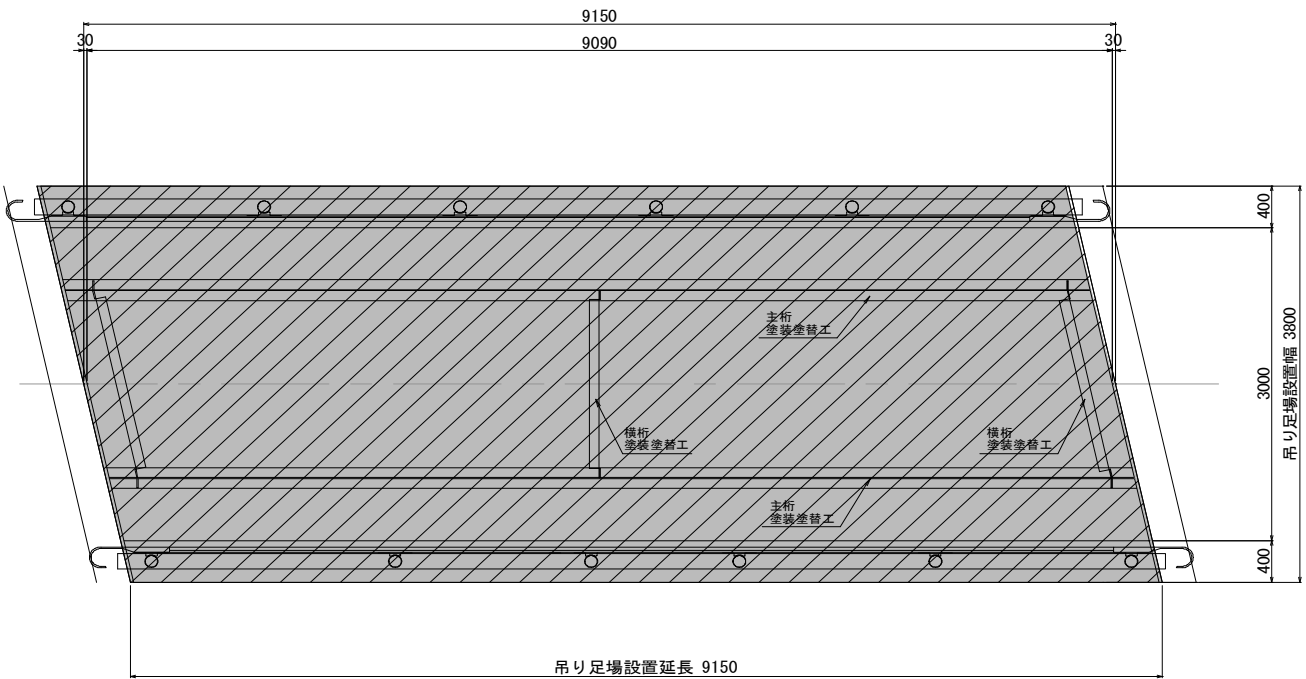
算 出 図



項 目	規 格	算 式	単位	数 量
水切り材		$9.090 \times 2.000 = 18.180$	m	18.180

7. 仮設工

算 出 図



項 目	規 格	算 式	単 位	数 量
仮設工	吊り足場	幅 長さ 3.800 × 9.150	m ²	34.770

特記仕様書

工 事 名 西福橋他橋梁修繕工事

工事場所 宍粟市一宮町西深地内他

工 期 令和8年3月25日限り

第1条 適用

本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によるものとする。

- 土木工事共通仕様書（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（一部改訂）
- 土木請負工事必携（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（一部改訂）
- 土木工事施工管理基準（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（一部改訂）
- 小型構造物標準図集（兵庫県土木部）〔平成25年10月〕（最新改訂版）

第2条 一般事項

1. 受注者は施工に先立ち、事前に設計図書の照査を行うものとし、現地との整合性を確認し、疑義が生じた場合は、確認できる資料を書面により提出し、監督員と協議の上処理するものとする。
2. 受注者は施工に先立ち、監督員と立会いの上、BM、工事の起終点、官民境界等を確認しなければならない。また、発注者より貸与する測量成果簿により再測量を行うものとし、その成果を監督員に報告するものとする。

第3条 地元への対応

1. 受注者は本工事を施工するにあたり、事前に西深、深河谷自治会長等の関係者に挨拶(報告)すること。
2. (工事用地区域外への対応)
工事施工箇所、資材置き場、資材運搬路等に隣接する土地所有者とトラブルのないよう現地立会し、十分協議すること。また、工事用地以外の区域へ立入りする場合及び草木等の伐採を必要とする場合には、必ず所有者の承諾を得るものとする。(民地を掘削しなければならない時は、官民境界を監督員及び土地所有者と立会確認し、控杭等を設置し保有する。)

第4条 環境対策

1. (排出ガス対策型建設機械)
本工事において、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとし、施工計画書に証明書を添付し提出すること。
2. (公害対策)
 - ① 工事施工により発生する公害は、環境基準を厳守し万全の対策・処置を講じること。
 - ② 本工事箇所は、低騒音・低振動型機械を使用することとし、作業の実施にかかる事前の届出と規制基準の遵守を義務づけられているので、作業開始7日前までに届けるとともに、その写しを1部提出すること。
 - ③ 騒音及び振動、濁水について、工事施工前及び工事施工中において、監督員と協議の上必要に応じて観測を行うものとし、工事により悪化した場合、速やかに対応を行うこととする。なお、前述の観測地点、回数等については監督員と協議のうえ決定するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。
 - ④ 土砂掘削等による汚水、塵埃、騒音、振動及び路面の汚損には細心の注意を図ること。万一地元及び第三者から苦情があった場合は、受注者で責任を持って処理すること。

第5条 工事中の安全確保

1. (工法変更等への対応)
構造物等の施工に於いて湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない場合、または関係機関と協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、対策工法を監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2. (掘削部の安全施工)
土石崩落等危険と判断される時及び床堀法面において、関係機関との打合せ等により、危険防止のための安全対策等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。
3. (安全・訓練等の実施)
安全・訓練等の実施については、土木工事共通仕様書第1編を参照のこと。また、実施状況をビデオまたは工事報告書(工事旬報)に記録し報告するほか、写真等も整理のうえ提出すること。(尚、これらに要する経費については、現場管理費率に含む。)

第6条 交通安全管理

1. (道路使用願等)
工事の施工に当たっては、一般通行等に及ぼす影響を最小限になるように施工計画を立案し、監督員と協議すると共に、「道路使用許可願」を所轄警察に提出し、その許可を得るとともに許可証の写しを監督員に提出すること。また、関係機関との協議を発注者と共に行い、必要な安全対策を講じること。
2. (安全施設類)
標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路工事現場における標示施設等の設置基準(土木請負工事必携 11)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
3. (交通誘導員の有資格)
 - ① 本工事に配置する交通誘導員は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号)等に基づき、交通誘導警備検定合格者(1級又は2級)を規制箇所毎に1名以上配置することとする。
 - ② 受注者は、配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。
4. (交通誘導員の配置)
交通誘導員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配 置 場 所	交通誘導員	編 成	昼夜別	交替要員の有無
西福橋起終点	2名/日	交通誘導員B 2名	昼間	無
中組橋起終点	2名/日	交通誘導員B 2名	昼間	無

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

5. (過積載による違法運行の防止について)
過積載による違法運行防止対策として次の事項を遵守すること。
 - ① 積載荷重制限を超えて土砂を積み込まない。
 - ② 過積載を行っている業者から、資材を購入しない。
 - ③ 不正改造運搬車(さし杵装着、違法物品積載装置)を一切使用してはならない。また、工事現場への出入もさせてはならない。

第7条 建設廃材等の処分

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める廃棄物は、同法に準拠した適切な方法により処分すること。
2. 産業廃棄物の処分に当たっては、同法の許可を持った産業廃棄物処理業者において処分すること。
3. 特定建設資材廃棄物を処分する場合(特定建設資材の分別解体等・再資源化等)
特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の①と②の積算条件を設定している。

① 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

上記①の「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
コンクリート塊	岸本建材運輸	西福橋 8.4 km 中組橋 6.6 km	宍粟市一宮町 東市場	兵庫県土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表②については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

4. 塗膜片を処分する場合

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
塗膜片	ツネイシカム テックス(株)	西福橋 177.8km	広島県福山市箕沖町 107-5	当該施設の受入条件を遵守すること。 福山市には、廃棄物を県外から搬入する場合事前協議があるので注意すること。	監督員の指示による。
	三光(株)	中組橋 183.6km	鳥取県境港市潮見町1番		

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、塗膜片の処分

量が暫定数量であるため、処分量の確定後、再精査の結果によっては、設計変更を行う。

5. 建設リサイクル法等に基づく手続き

受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第12条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。
また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

併せて、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式を使用すること。

6. マニフェストシステムについて

この工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト票）を使用し、受注者の責において5年間保存すること。

産業廃棄物管理票（マニフェスト票）D・E票及び計量伝票を検査時に提示し、様式25の産業廃棄物管理票交付状況総括表は提出することとする。（設計計上量を最大値として、上記検収数量を算出数量として、変更の対象とする。）

7. 受注者が直接（法律に基づく許可地でない土地）処分地に投棄した処分量は、投棄量算出量としない。

8. 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結する。また、運搬及び処分を業とする許可書を、委託契約の写し及び処理業者の所在地と運搬ルートとともに施工計画書に添付すること。

9. 受注者は建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡し完了したときは、「産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例」（平成15年3月17日兵庫県条例第23号）第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督員に提出すること。（工作物等解体工事は請負代金500万円以上、建築物解体工事は延床面積80㎡以上）

第8条 週休2日確保工事について

1. 本工事は、原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板（看板④）に明記すること。（受注者は契約後、施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行う。

2. 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。

3. 現場稼働中の工期〔工事着手（現場測量等）前、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）を達成した場合に工事成績の評価を行う。

明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合は、「法令遵守等」で減点措置を行う。

4. 現場閉所の確認のため、受注者は工事履行報告書を提出すること。

5. 労務費等の補正については、当初予定価格に完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況が完全週休2日（土日）に満たないものは、月単位の週休2日の補正係数に変更し、請負代金額を減額変更する。

月単位の週休2日交替制に満たないものは、完全週休2日交替制の補正係数を除し、請負代金額を減額変更する。

6. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内業や他の現場に従事することを制限しない。但し、専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。

7. 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交替制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上、変更することができる。ただし、工事着手後の変更は認めない。

＜労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正＞

一般公共（港湾工事4工種除く）の場合

	補正係数	
	土日現場閉所	
	完全週休2日	月単位
労務費	1.02	1.02
共通仮設費率	1.02	1.01
現場管理費率	1.03	1.02

第9条 特定外来生物の駆除について

1. 工事着手前に工事区域内において、以下に示す特定外来生物が生育していないか現地踏査を行い、特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。なお、下記に記載の特定外来生物の生育が確認された場合は、別途、施工計画書にその処分、運搬方法等について記載すること。

・特定外来生物の種類：

アルゼンチン・フィロセロイデス(サザンブルー)、ヒステリア・ステイティス(ボタノキ)、アゾル・クリスタ、コロプス・ラングラー(オキナグサ)、ギムノコリス・スピラントイデス(ミズヒマワリ)、ルトベギア・ラキアタ(オハコソウ)、セネオ・マダガスカルエンシス(ナツメグサ)、スギョス・アングラウス(アサガサ)、ミリオフルム・アグアティム(オオアサガサ)、ルトベギア・グランディフロラ(オハコソウ等)、ヴェロニカ・アガリス・アグアティム(オオアサガサ)、の植物11種

(詳細については、下記の環境省ホームページ

URL：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html>を参照)

2. 確認された特定外来生物の防除を行う場合、別紙防除実施計画書に基づいて個体を採取し、処分しなければならない。
3. 特定外来生物の防除完了後、防除記録台帳を作成し、監督員に提出すること。
4. 特定外来生物を含む残土については、極力、現場内にて処分するよう努めること。

第10条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第11条 施工管理

1. 受注者は、本工事に関する施工管理担当者を定め、その氏名を書面で発注者に通知しなければならない。施工管理担当者を変更したときも同様とする。
2. 主任技術者（監理技術者）及び専門技術者は、前項の施工管理担当者を兼ねる事が出来る。
3. 施工管理担当者は、土木工事施工管理基準及び規格値、同運用方針により、施工管理を実施しなければならない。また、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には追加することがある。
4. 施工管理のうち、品質および出来形管理については、管理基準および規格値、同運用方針に基づいて試験や測量を実施するとともに、そのデータを用いて管理図等（管理図またはデータの集計表）を作成し、提出すること。（データのみの提出はしないこと）

第12条 写真管理

1. 写真管理については、土木工事施工管理基準の写真管理基準により撮影、整理すること。
黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、分り易く整理して提出すること。
2. 写真はカラーL版（89×127mm）とする。ただし、着工前及び完成写真等は、キャビネ版（127×178mm）またはパノラマ写真（つなぎ写真可）とし、それぞれ対比して撮影すること。
3. 完成写真には測点及び起終点方向を明示すること。

第13条 品質規格

1. 本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。

2. (コンクリート管理)

- ① コンクリート中の塩化物量の総量規制、アルカリ骨材反応抑制対策については、指示する重要構造物について、コンクリート中の塩化物総量規制及びアルカリ骨材反応抑制対策実施要領に基づき、コンクリート打設前に試験を実施し規格値を満足することを確認のうえ打設すること。(請負必携 21 参照)
- ② コンクリートの強度管理については、標準養生の他、現場空中養生も行うこととする。
- ③ 鉄筋のかぶりを確保するため、スペーサーを構造物の側面については原則 1 m²につき 2 個以上、構造物の底面については原則 1 m²につき 4 個以上設置する。

3. (セメントコンクリート製品)

- ① 本工事に使用するセメントコンクリート製品は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。なお、「小型構造物標準図集」に示す構造規格を満足する側溝等の使用に当たっては、監督員の承諾を得て使用することができるものとし、それに係る請負代金の変更は行わないものとする。
- ② 品質確認は、「セメントコンクリート二次製品の取組要領」(兵庫県県土整備部)〔平成27年1月〕に基づき実施する。

第 14 条 一般施工

1. (とりこわし工)

コンクリート構造物及びアスファルト舗装版を取り壊した時は、速やかに取壊し数量及び根拠となる図面を監督員に提出しなければならない。

第 15 条 詳細図等の作成

取り合い、現地再測量による数量等の変更、構造物の変更および追加による図面は、監督員と協議の上、受注者が全て作成すること。(設計変更に使用できる図面と数量を提出すること。)

第 16 条 工事標示板等

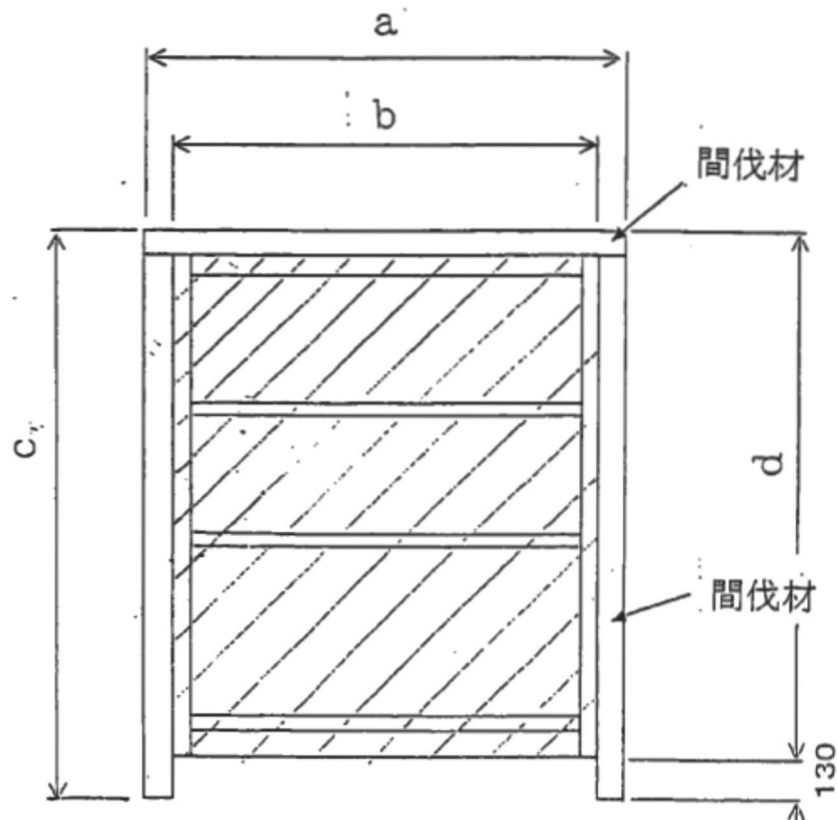
1. 受注者は、工事看板に宍粟産間伐材を使用すること。また、宍粟市のマスコットキャラクター「しーたん」を工事看板に表示し、工事現場に設置すること。(看板①)
2. その他の標示板〔お願い看板、まわり道、誘導標示板等〕にあっても積極的に宍粟産間伐材を使用すること。

第 17 条 その他施工関係

1. 本工事設計書の種別欄の記号は、別冊小型構造物図集に掲載の形式を表示している。
名称、単位、数量、構造物を省略かつ代表断面により発注しているので、受注者は施工にあたり位置・形状・寸法等に誤りの無いようにしなければならない。
2. 受注者は、縦断面図等のない場合でも、縦断勾配の配慮を要する構造物については、特にその目的及び機能を果たす施工をしなければならない。
3. 受注者は、軽微な取り合わせ等、現場の納めについては、図示されていないものであっても施工するものとする。
4. 監督員と協議・打合せした内容については、書類にて監督員に提出するものとする。
5. 本工事の施工にあたり河川への影響がある場合は、事前に関係者と調整を図ること。
6. 広範囲に住民等に周知する工事及び交通量が多い工事においては、看板②を見やすい場所に設置するとともに看板③を起終点に設置を行うこと。
7. 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

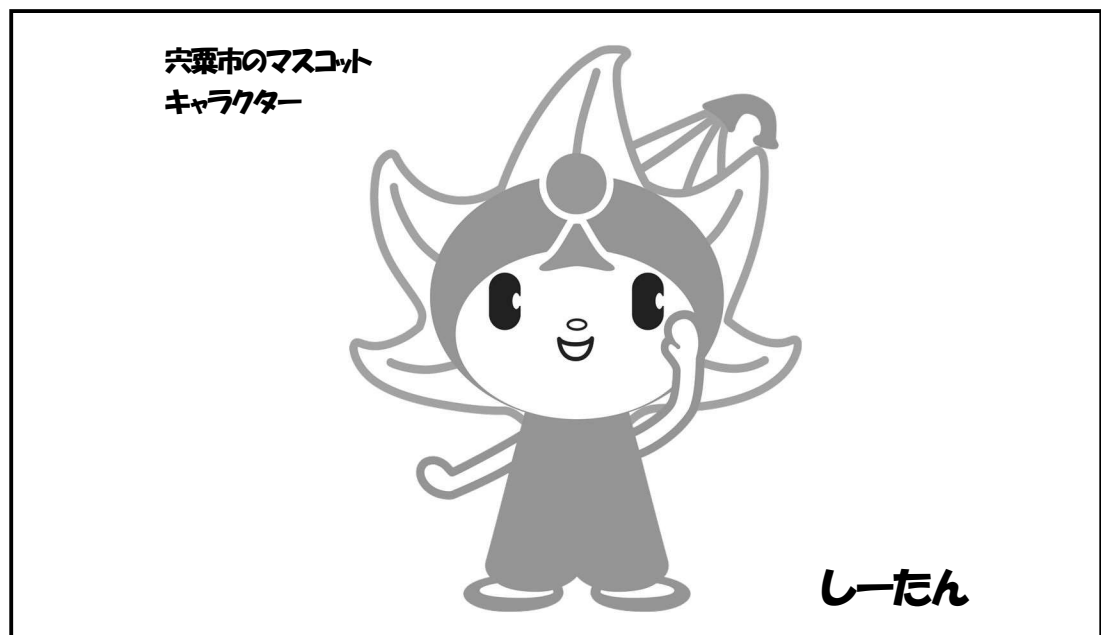
工事看板 参考図

【看板①】



※間伐材（杉・檜・松）

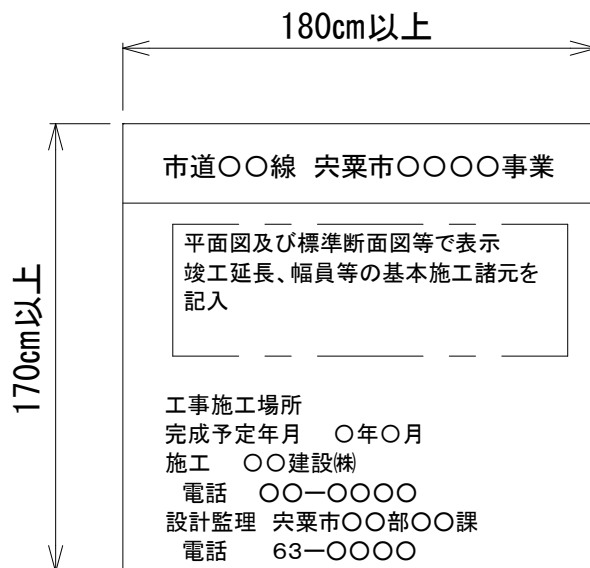
（例）



※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。
 ※下地は、白色とする。

【看板②】

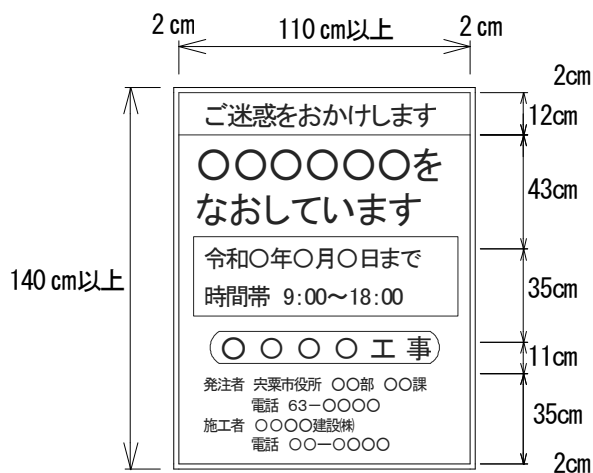
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



(注)(1) 看板設置箇所を決定し、平面図の方向が現場の方向と合うよう調整する。

【看板③】

＜工事標示板を明記する工事看板例＞

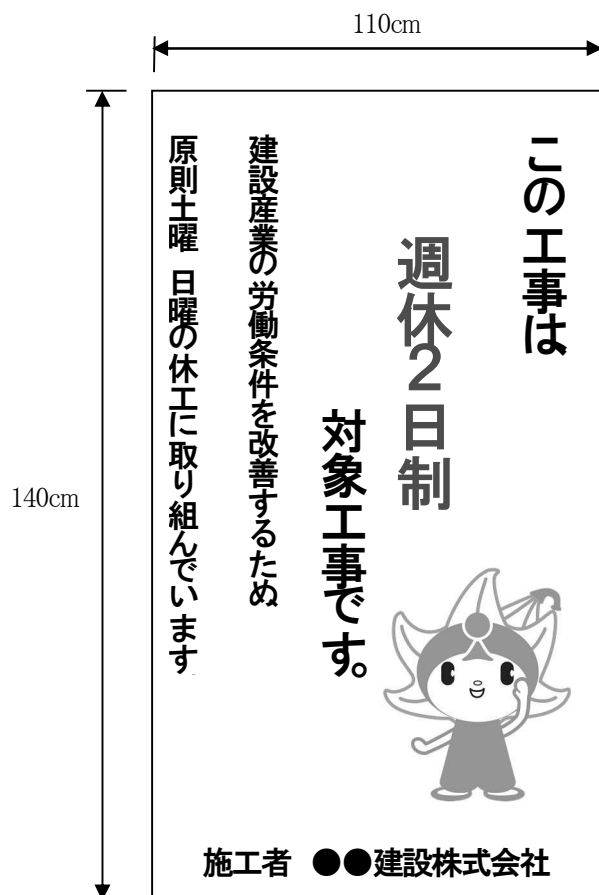


(注)(1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、下地を白色とする。

(2) 緑の余白は 2cm、緑線の太さは 1cm、区画線の太さは 0.5cm とする。

【看板④】

＜週休２日制度対象工事であることを明記する工事看板例＞



位置図

